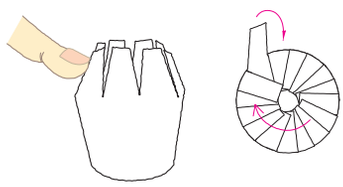
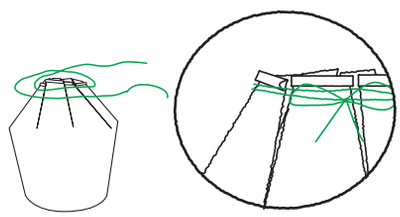
3　におい素材を入れる（同じにおいの素材を入れたカップを、2個ずつつくります）

4　切り込みをいれた部分を内側に折り、ひもでふちの部分を結ぶ



指で順番に折っていく。

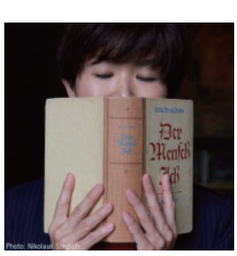


ふちにひもをかけるように結ぶ。

つくりおわったら、コップの底に、中身（5種）をあらわす記号（たとえば「A、B、C、D、E」）を書いておこう！

⟹ **くんくんカップが完成した人は、まわりの人にかいでもらって、においから感じたことを教えてもらおう。**
中身を言い当てることより、においそのものや感じたことを、言葉にして共有することが大事だよ。

⟹ **遊び方プリントでは「くんくんカップル」（トランプの神経衰弱のような遊び）など、カップをつかった活動を紹介しています。挑戦してみてね。**

たくさんかいで、においがわからなくなってきたら、手の甲（自分のにおい）をかいだり、部屋の外で深呼吸すると鼻をリセットできるよ。

くんくんカップを考えた人 井上尚子さん	においと記憶のつながりに注目して、日常が楽しくなったり、新しいことを発見することができるプログラムを考えています。作品をつくる時も、においと記憶の関係性を大切にしているよ。